令和3年度（2021年度）北海道防災総合訓練（厳冬期）

○ 目 的

北海道地域防災計画第4章第2節「防災訓練計画」の規定に基づき、北海道、防災関係機関、 関係市町村が共同で訓練を実施することにより、同計画第5章で定める「災害応急対策計画」の 実効性を検証し、特に厳冬期の災害対応力の強化を図る。

○ 訓練日時・場所

1 日時　　令和3年12月18日（土） 13時00分 ～ 19日（日） 9時00分【宿泊訓練】

2 場所　　北斗市総合体育館

○ 主催等

1 主 催　　北海道防災会議、北海道

2 共 催　　北斗市

3 監 修　　日本赤十字北海道看護大学 災害対策教育センター長 根本 昌宏 氏

4 後 援　　北見工業大学地域と歩む防災研究センター

○ 訓練内容

1 訓練想定　　厳冬期の自然災害により、停電・断水が発生

2 訓練実施項目

(1) 感染症対策を講じた避難所運営訓練

■ 避難所開設訓練　○避難所内のゾーニングの実施
○感染症対策に係る受付や居住スペース
○避難者の受入・備蓄資機材の搬入

■ 避難所運営訓練　○避難所運営ゲーム（Doはぐ）による演習
○停電・断水への対応
○キッチンバスを活用した炊き出し

■ 宿泊訓練　○雑魚寝・段ボールベッド等の宿泊体験
○車中泊演習

(2) 防災講話

■ 日本赤十字北海道看護大学教授　根本 昌宏 氏　「厳冬期の避難所における感染症対策」「車中泊上の安全管理」

■ 山岳救助医療機構　大城 和恵 氏　「避難所における低体温症対策」

■ 気象予報士　住友 静恵 氏　「女性の視点による避難所運営」

○ 参加機関等　42 団体等 （うち市町村 15団体） 約 200名

【北海道】

総務部危機対策局、環境生活部ゼロカーボン推進局、渡島総合振興局、檜山振興局

【市町村】

函館市、松前町、福島町、木古内町、七飯町、鹿部町、森町、八雲町、
江差町、上ノ国町、厚沢部町、乙部町、せたな町、滝川市

【北海道防災会議構成機関】

陸上自衛隊（北部方面隊）、北海道開発局、日本赤十字北海道支部、北海道看護協会、北海道獣医師会、
KDDI（株）、日本コミュニティ放送協会北海道地区協議会（函館山ロープウェイ(株)FMいるか）

【協力企業】

旭中芯(株)、イオン北海道(株)、ウォレットジャパン(株)、エスピタコーポレーション、（株）NTTドコモ、王子コンテナー(株)、
（株）クールスター、合同容器(株)、(株)彩生、静岡製機（株）、新生物産(株)、(株)総合サービス、大丸(株)、
日本セイフティー(株)、(株)プリート、北海道コカ・コーラボトリング(株)、(株)ムラカミ、三菱自動車工業(株)、ヤマヤ物産(有)

令和3年度（2021年度）北海道防災総合訓練（厳冬期）の主な様子

共　催

北斗市

監　修

学校法人 日本赤十字学園
日本赤十字北海道看護大学
Japanese Red Cross Hokkaido College of Nursing

災害対策教育センター長
根　本　昌　宏　氏

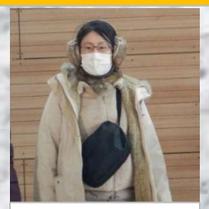
後　援

北見工業大学
KITAMI Institute of Technology

SAFER
KITAMI INSTITUTE OF TECHNOLOGY
北見工業大学
地域と歩む防災研究センター

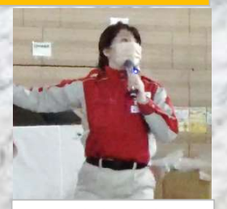
有識者による防災講話

山岳医療救助機構
代表
大城　和恵　氏



北海道防災教育
アドバイザー
住友　静恵　氏

北海道獣医師会
道南支部
久保田　郁夫　氏



日本赤十字社
北海道支部
原田　由美　氏

○根本昌宏　氏　監修
「厳冬期の避難所における感染症対策」
「車中泊上の安全管理」
○北見工業大学　後援
避難所・車中泊環境計測
○大城和恵　氏　防災講話・Doはぐ講師
「避難所における低体温症対策」
○住友静恵　氏　Doはぐ講師
「女性視点による避難所運営」
○久保田郁夫　氏　Doはぐ講師
「ペット同行避難」
○原田由美　氏　防災講話
保健・医療グループワーク、避難所体操

避難所開設訓練（北斗市）

避難者受入

受付・検温

居住スペース設置

女性専用スペース

簡易トイレ

避難所内の状況

避難所運営訓練

避難所運営演習（Doはぐ）

保健・医療グループワーク（環境アセスメント）

避難所運営訓練

炊き出し演習

獣食

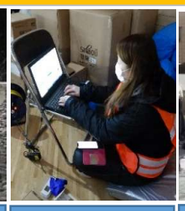
暖かい食事

足湯

就寝トライアル

段ボールベッド展開

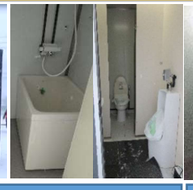
車中泊演習



Twitter配信

避難所体操

防災関係機関活動状況（TKBW）



シャワー付きコンテナ・トイレ

携帯トイレ

キッチンバス

自衛隊炊き出し支援

各種段ボールベッド

マットレス・難燃シーツ

ダクトヒーター

防災関係機関活動状況（停電・断水対策・感染症対策・防災啓発・情報発信）

PHEV車による給電

FCV車による給電

凍結防止機能付き散水車

災害自販機

携帯充電ブース・Wi-Fi設置

簡易手洗場

衛生用品

防災講話

防災グッズ

トイレ啓発

ラジオ中継・YouTube配信

◎北海道防災総合訓練（厳冬期）訓練スケジュール

日	時　間	訓　練　項　目
12月18日(土)	AM	●訓練準備 ●参加者集合（健康チェック）
	13:00 ～ 13:20	●訓練開始式 ・オリエンテーション（訓練概要説明、諸注意）
	13:30 ～ 15:30	●避難所開設訓練 ・感染症対策を講じた避難所の開設 ・受付設置・居住スペース等レイアウト ・発電機等備蓄資機材設置 ・避難者受け入れ
	15:40 ～ 16:30	●訓練指導、防災講話 ・感染症対策、ゾーニング指導（日赤看護大学　根本昌宏氏） ・避難所における低体温症対策（山岳医療救助機構　大城和恵氏）
	16:40 ～ 17:30	展示：Aグループ：●避難所運営演習（DOはぐ）※1 Bグループ：●展示ブース見学・防災講話 ※2 保健医療グループ：Aグループ Doはぐ／Bグループ 見学・講話
	17:40 ～ 18:30	展示：●展示ブース見学・防災講話 ※2 Bグループ：食事（黙食） 保健医療グループ：食事（黙食）●グループワーク 健康・保健に係る避難所日報
	18:30 ～ 19:30	展示：食事（黙食） Bグループ：●避難所運営演習（Doはぐ）※1 保健医療グループ：グループワークを優先 終了後Doはぐ・見学
		※1　避難所運営演習（DOはぐ） ・感染症対策、低体温症対策、ペット同行避難　女性等災害弱者対応　など 解説・講話　根本昌宏氏、大城和恵氏、気象予報士　住友静恵氏、北海道獣医師会道南支部）
	19:40 ～ 22:00	●日赤避難所講話～健康・保健に係る情報共有 ●車中泊講習～車中泊の安全対策（根本講師） ●足湯体験（自作） ●就寝演習 ・就寝トライアル（ブルーシート、雑魚寝、エマージェンシーシート） ・火災予防講話（根本講師） ・段ボールベッド設置展開
	22:00 ～ 6:00	●就寝演習 ・簡易ベッド、段ボールベッド使用 ●車中泊演習 ・PHEV車等使用、環境計測 ●避難所運営訓練 ・保健衛生体制の確立
12月19日(日)	6:00	●起床
	6:30	●避難所体操（エコノミー症候群・生活不活性化病予防）
	6:40 ～ 7:30	●炊き出し演習（キッチンバス）
	8:00	●訓練ふり返り、アンケート調査
	8:30	●避難所全体掃除・撤収
	9:00	●訓練終了・解散

炊き出し演習（キッチンバス）

防災情報発信訓練（FMいるか）

※2　●展示ブース見学・防災講話

講話		・簡易トイレ使用方法（日本セイフティー(株)） ・災害時のSNS上のデマ情報について（KDDI(株)）
展示等	屋外	・特殊車両展示（陸上自衛隊北部方面隊） ・散水車（北海道開発局） ・キッチンバス（(株)クールスター） ・コンテナトイレ（ウォレットジャパン(株)） ・PHEV車（三菱自動車工業(株)） ・水素自動車（環境生活部） 訓練会場内等の給電を実施
	屋内	・携帯充電ブース（(株)NTTドコモ、KDDI(株)） ・災害自動販売機（北海道コカ・コーラボトリング(株)） ・簡易トイレ（大丸(株)、日本セイフティー(株)） ・携帯トイレ（新成物産(株)、(株)総合サービス、(株)ムラカミ） ・ダクトヒーター（静岡製機(株)） ・簡易手洗い場、炊き出し釜、足下暖房（ヤマヤ物産(有)） ・衛生用品（エスピタコーポレーション、(株)プリート） ・パネル展等（北見工業大学、北海道獣医師会道南支部） ・段ボールベッド （旭中芯(株)、王子コンテナー(株)、合同容器(株)、(株)彩生）